

◆震災対応で24学会がシンポ

【エ】日本学術会議と東日本大震災の総合対応  
刊に関する学協会連絡会 東日本大震災に對  
日する反省から土木学会、日本原子力学会、  
30 日本地震学会など国土・社会・産業基盤に  
関わる24の学会が結集し、学会の壁を越え  
11 て議論を展開する連統シンポジウム「巨大  
災害から生命と国土を護(まも)るー24学  
会からの發信ー」を開催する。第1回が  
「今後考えねべきハザード(地震動、津波  
等)と規模は何か」のテーマで12月6日14  
時から。会場は東京・六本木の日本学術会  
議講堂。第2回は「大災害の発生を前提と  
して国土政策をどう見直すか」(1月18  
日)、第3回「減災社会をどう実現するか  
(仮題)」(2月予定)。4回以降も順次  
開催する。第1回の申し込みは所属、氏  
名、所属学会名とEメール (sympo.  
ndm@gmail.com) で。問い合わせは小  
玉乃理子(早稲田大学准教授 (kodama@o  
ri.waseda.jp)) 宛に。